



大分こども病院

2025・8月号 (No.424)



にこにこニュース

〒870-0943 大分県大分市片島 83-7

<https://www.oita-kodomo.jp/>

(代表) TEL097-567-0050



でんせんせいのうかしん

伝染性膿痂疹 (とびひの原因・予防・治療法)

医師 漆畑 博太郎

出身は静岡県です。患者様やご家族が安心できる医療を提供できるよう努めます。



伝染性膿痂疹 (とびひ) は、主に 2-5 歳の小児に多くみられる皮膚の感染症ですが、それ以上の年齢でもみられます。特に夏季に流行します。暖かく、湿度の高い環境で起こりやすく、人が密集していると、容易に感染が拡大します。水疱が飛び火するように広がることから「**とびひ**」とも呼ばれています。原因菌は主に**黄色ブドウ球菌**です。溶連菌も原因となりますが、日本では、溶連菌による伝染性膿痂疹は極めてまれとされています。溶連菌が原因の場合、咽頭炎を併発することがあります。皮膚の**小さな傷**や**虫刺され**などから侵入し、感染します。感染力が強く、患部を掻いた手で他の部位や他人に触れることで広がり、注意が必要です。

【原因】

伝染性膿痂疹の主な要因は、皮膚のバリア機能が低下した状態になることです。虫刺されや擦り傷、湿疹などがあると、そこから黄色ブドウ球菌が侵入し、感染を引き起こします。特に高温・多湿の環境では、汗や皮脂の分泌が増え、皮膚が蒸れやすくなるため、細菌の増殖が促進されます。鼻前庭（鼻の下）は細菌の温床であり、ここから始まるケースが多いです。また、似たような疾患として、皮膚の深い場所に炎症を起こす蜂窩織炎や丹毒という病気もあります。

【予防】

皮膚の清潔を保つことが最も重要です。特に汗をかいた後は、**手洗い**や**シャワー**を徹底しましょう。虫刺されや擦り傷ができた場合、早めに適切な処置を行い、感染を防ぐ必要があります。また、家族内で感染が広がらないよう、タオルや衣類は共有せず、寝具の洗濯もこまめにしましょう。水を介して感染することはないので、入浴に問題はありません。出席停止の必要もありません。学校感染症としての伝染性膿痂疹に関する対応は「病変が広範囲の場合や全身症状のある場合は学校を休んでの治療を必要とすることがあるが、病変部を外用処置して、きちんと覆ってあれば、学校を休む必要がない」とされています。**ガーゼ**と**防水テープ**、**絆創膏**で患部を覆うことが有効です。

【治療】

治療の基本は、感染拡大を防ぎ、症状を軽減することです。治療は基本的に外来で行います。軽症の場合は、抗菌作用のある外用薬を患部に塗布します。症状が広範囲に及ぶ場合は、内服の抗菌薬が処方されることがあります。また、患部を清潔に保つため、1日数回の洗浄が推奨されます。**爪を短くし、掻いて患部を壊さないこと**が大切です。特に小児は免疫力が未発達なため、日頃から**スキンケア**と**衛生管理**を心がける必要があります。



しらみ（アタマジラミ）

こどもが頭をかゆがるとき、**髪の毛に白い卵**があったら、**アタマジラミ**かもしれません。遊んでいるときに髪の毛が触れ合ってうつりますので、誰でも感染する可能性があります。不潔が原因ではありません。



治療

①殺虫剤（フェノトリン）入りのシャンプー（スミスリン）：卵には効かないので、3日に1回ずつ決められた回数（3～4回）行います。

②専用のクシですき取る：リンスをつけて滑りをよくしておいた髪にクシを通し、一方向に根もとから毛先まですきとったら、1回ごとにクシをすすぎます。これを頭全体（とくに耳のうしろや後頭部）に繰り返します。

家庭で気をつけること／

寝室→他の子と同室で寝てかまいませんが、布団は分けましょう。

しらみは熱に弱い→しらみは、60℃以上のお湯に5分以上つけると死滅します。寝具などは熱湯消毒するか、アイロンをかけるとよいでしょう。

きょうだい→きょうだいの頭も確認しましょう。

登園・登校できます！

治療を始めれば、プールも入ってかまいませんが、頭に触れるもの（ヘアゴム、ブラシ、帽子、衣類、タオルなど）を共有するのは避けましょう。



こどもの鼻血

こどもは無意識に鼻の穴を触るためよく鼻血を出します。鼻血は鼻の中側の血管が密集している粘膜から出血しやすく、**かぜ**や**アレルギー**があると鼻の粘膜が弱くなり、ちょっとした外力で出血します。

鼻血が出たときは…

- 鼻血が出たら、外から鼻を押さえ、血が止まる
- まで鼻の位置を**心臓より高く**します。寝かせる
- ことはかえって出血を長引かせることになるので背もたれのあるイスに座らせ、**坐位**をとるのが一番いい処置法です。一般的な処置を行っても鼻血が止まらないときは、耳鼻科のある病院に行きましょう。病院では出血部位を確認し、血管を収縮させる薬をしみこませたガーゼや脱脂綿で止血します。

鼻血と病気

- 鼻血が出やすい、あるいは出たときに止血しにくい病気には、**白血病**や**血友病**が考えられます。
- このように書くと怖い感じがしますが、血液の病気であれば鼻血以外にも定型的症状があるのでそれだけで心配する必要はありません。暑さが続いたり興奮したりすると鼻に流れる血液量が増え鼻血が出やすくなります。顔がいつもより赤くなって血液の流れる量が増えたと思われるときは**涼しくすること**も鼻血予防になります。

△ こんな鼻血には注意 △

①しょっちゅう出る ②原因無くあざができる ③元気がない

出典元：日本医師会

https://www.med.or.jp/clinic/sick2011_hanazji.html

～診療時間のご案内～

午前 9:00～12:00

午後 15:00～18:00（月～金）

14:00～18:00（土）

乳児健診・予防接種

14:00～17:00（水曜のみ）**予約制**

☆休診日：日曜・祝祭日・年末年始

ただし急患の方はこの限りではありません

お電話なしでご来院ください

☆付き添いについてのお願い☆

当院では感染拡大防止対策として、入院患者様の付添いや時間外の面会、また外来診察時の付添いは、

『患者さま1名につき、付添い1名のみ』

とお願ひしています。

付添いがお一人で難しい場合は、スタッフにご相談ください。

ご理解の上、ご協力をお願いします。